

## 第100回 火力専門委員会 構造分科会 議事録

- I. 日 時：2018年4月24日（火）13時30分～16時50分  
II. 場 所：日本機械学会 第3・4会議室  
III. 出席者：飯田（東電FP）、西野（配管技術研究協会）、西田（MHPS 長崎）、関根（IHI）、  
芝（関西電力）、黒川（KHI）、野呂（富士電機）、田村（MHPS 日立）  
代理者：堀（MHPS 呉：豊嶋）  
オブザーバー：なし  
欠席者：太原（東芝）、松浦（中部電力）  
事務局：原

### IV. 配布資料

- 100-1 第99回構造分科会議事録（案）
- 100-2 構造分科会委員名簿
- 100-3 第83回火力専門委員会議事録（案）
- 100-4 第85回規格委員会議事録（案）
- 100-5 発電用火力設備規格 2017年追補 JESC 技術会議審議結果報告
- 100-6 火力専門委員会書面投票 No.74（詳細規定 201X 年版第Ⅵ章）結果報告
- 100-7 用語集（なし）
- 100-8-1～ なし
- 100-9-1 レビュー票（Ⅲ章 PG-28,29,30 MHPS 呉）
- 100-9-2 レビュー票（Ⅳ章 USC、Ⅴ章 127 MHPS 日立）
- 100-10-1 新旧対比表（Ⅲ章 PG-58～、PG-75～ 富士電機）
- 100-10-2 新旧対比表（Ⅲ章 PG-1～26、PW-31～39、Ⅴ章 129～135 MHPS 長崎）
- 100-10-3 新旧対比表（Ⅲ章 PG-27、APP-18～、APP-100～、APP300～、補遺  
東電FP）
- 100-10-4 新旧対比表（Ⅳ章 USC、Ⅴ章 127 MHPS 日立）
- 100-11 201X 年版改訂提案資料一式（Ⅲ章暫定版）
- 100-12 審議履歴表
- 100-13 Microsoft 数式エディタ 3.0 が Office から削除されたことへの対応

### V. 議題

1. 前回議事録確認 [資料 100-1]  
前回議事録（案）の確認を行ない、議事録案は承認された。
2. 分科会委員・役員の承認 [資料 100-2]  
野呂委員の退任が報告された。新任委員候補として服部氏（富士電機）が、再任委員候補として西野委員が、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。なお、西野委員から副主査退任の申し出があり、了解された。

### 3. 報告事項

#### (1) 火力専門委員会報告

[資料 100-3]

2月21日開催の第83回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○火力専門委員会委員、各分科会委員の承認。

○第99回(1/23)構造分科会報告

・2017年追補、事例規格のJESC技術会議審議結果報告。

・発電用火力設備規格201X年版Ⅲ章、Ⅴ章の新旧対比表の準備・確認状況。

○審議結果報告

・発電用火力設備規格201X年版第Ⅱ章材料の書面投票No.73の投票意見と対応案について。

・発電用火力設備規格201X年版第Ⅵ章非破壊検査の改訂提案と書面投票実施の承認。

#### (2) 規格委員会報告

[資料 100-4]

3月7日開催の第85回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

・火力専門委員会(2/21開催)報告

・火力関係の審議案件はなし。

#### (3) 発電用火力設備規格(2017追補)のJECSC本委員会審議結果報告

[資料 100-6]

3月6日(火)に開催されたJECSC本委員会における、発電用火力設備規格(2017追補、事例規格)の審議結果が報告された。

○発電用火力設備規格基本規定2017年追補が発電用火力設備の技術基準に適合していることか承認された。

○3月30日に、日本電気技術規格委員会(JESC)から経済産業省に、発電用火力設備規格基本規定2017年追補の火技解釈への引用要請が提出された。

#### (4) 火力専門委員会書面投票No.74結果報告

[資料 100-5]

発電用火力設備規格201X年版 詳細規定 第Ⅵ章 非破壊検査の改訂案の火力専門委員会書面投票の結果が報告された。賛成票が2/3以上あり、反対票がなかったため可決となった。現在、意見対応中。

#### (5) Microsoft 数式エディタ 3.0 が Office から削除されたことへの対応

[資料 100-13]

事務局から、Microsoft 数式エディタ 3.0 が Office から削除されたことの影響とその対応について説明があった。

### 4. 審議事項

#### (1) 用語集の確認

新たな追記・変更箇所はなかった。

#### (2) レビュー票審議

##### 1) Ⅲ章 PG-28,29,30 (MHPS 呉)

[資料 100-9-1]

メールベースでレビュー票のダブルチェック、ダブルチェック結果の反映を進め、ダブル

チェック結果の反映完了後、新旧対比表を作成することを確認した。

2)Ⅳ章 UCS、Ⅴ章 127 (MHPS 日立) [資料 100-9-2]

ダブルチェック結果を反映したレビュー票の確認を行った。

○UCS-56(a)など

- ・ASME に記載の無い「(フェライト系鋼材で作られた…を除く)」を JSME で追記した理由(火技解釈の規定)をレビュー票に記載する。

○USC-56(d)(2),(5)

- ・加熱速度、冷却速度の値は、チェックコメントを反映すべきかを再度確認する。

○127.4.8(C)

- ・“cover weld” は、チェックコメントの通り「カバーすみ肉溶接」とする。

(3)新旧対比表の確認

1)Ⅲ章 PG-58～、PG-75～ (富士電機) [資料 100-10-1]

野呂委員が資料を説明し、審議を行った。

○全般

- ・PG-58.2 の文中の「PG-59.1.1.1」など、引用している項目番号の後ろに「項」を付ける。

○全般 PG-60.3.7、PG-60.5 など

- 「、」 → 「, 」とする。

○PG-59.5

- タイトルの「弁と継手」 → 「弁と管継手」(fitting は管継手とする)

○PG-60.1.1 ほか

- 改訂内容の欄の記載の位置は、PG-60.1.1.4 等のより細かい項目番号の横に記載する。

- ・PG-59.5.1.1 の横のもの → PG-59.5.1.2 の横にも記載する。

- ・PG-60.1.1 の横のもの → PG-60.1.1.4 の横に移動する。

○PG-60.5

- ・「閉とすること」から「開のままキープすること」に改訂している箇所は、どちらかが誤記であるので再確認する。

○PG-77.2

- ・改訂内容に「規定の追加」を追加する。

2)Ⅲ章 PG-1～30、PW-31～39、Ⅴ章 129～134 (MHPS 長崎) [資料 100-10-2]

西田委員が資料を説明し、審議を行った。

○全般

- ・JSME の注釈は、ASME の通し番号を採用せず、項目ごとに注釈番号をつけることとする。

- ・SI 値の採用。

- ・文の中で引用している項目番号の後ろに「項」を追記する。

○PG-5.6

- ・グループ → グループ番号

○PG-9.1~PG-9.3

- ・材料の増減があるので、改訂内容を確認し、改訂内容の欄の記載を追加する。

○PG-16.5

- ・第2章 → 第Ⅱ章

○PG-16.6

- ・許容交差 → 許容公差

○PG-20

- ・表 PG-20 があるか確認する。ない場合には、新たに作成する。
- ・第Ⅲ章全般について、各委員が図表の抜けが無いか確認する。

○PG-21.3

- ・「弁が作動している時は、…超えないこと」→「弁が作動している時、…超えないこと」

○PG-25.2.1.2.2

- ・or → 又は

○PW-39.1

- ・「フェライト系鋼…」が記載されている理由をレビュー票に残しておく。

○131.4

- ・131.4 のタイトル行は始めのひとつだけにする。（132.3 のタイトル行も同様）

○132.4.2

- ・6.35 → 6
- ・あわせて、改訂内容に「ASME Section I 等の SI 値と整合」を追記。

3) Ⅲ章 PG-27, APP-18~, APP-100~, APP300~, 補遺東電 FP) [資料 100-10-3]  
飯田委員が改訂箇所を説明し、審議を行った。

○PG-27.4.4

- ・「25.4mm」→「25mm」とし、改訂内容の欄に「ASME SI 値採用」を追記する。
- ・改訂内容の欄に「規定の追加」を追記する。

○PG-27.4.4

- ・「1.72MPa」→「1.7MPa」とし、改訂内容の欄に「ASME SI 値採用」を追記する。

○A-65

- ・PG-32.1.4 の後ろに「項」を付ける。

○A-67

- ・改訂前後で同じものに下線が引かれているので、確認する。

○A-68

- ・ $d=$  の式の 2 行目の「111」→「11.1」

○A-70

- ・6.35mm → 6mm

○補遺 APPENDIX IV

- ・タイトルの「局部減肉範囲」→「局部薄肉範囲」
- ・Local Thin Area → Local Thin Area

4) IV章 UCS、V章 127 (MHPS 日立)  
レビュー票の修正を新旧対比表に反映する。

[資料 100-10-4]

(4) 第Ⅲ章の改訂提案について

[資料 100-11]

次回の火力専門委員会(6/4)に第Ⅲ章の改訂を提案することが承認された。

- 新旧対比表の担当分を再確認し、必要な修正をした上で CS キャビネットに保存し、事務局および分科会三役に連絡する。また、再確認にあたっては、図表の抜けが無いかを確認し、抜けている場合は新旧対比表を作成する。注釈番号は ASME の通し番号を採用せず、項目ごとの番号とすることで統一する。
- PG-28、29 については、分科会三役でダブルチェックを実施、担当箇所(MHPS 呉)でチェック結果の確認反映を行った後、新旧対比表としたものを別途メールベースで確認することとする。ダブルチェックはGW明け目途に実施する。
- レビュー票も改訂提案の参考資料として CS キャビネットに保存し、火力専門委員会の各委員が閲覧できるようにする。

## 5. 次回開催予定

開催日時： 8月7日(火) 13時30分～17時

場 所：日本機械学会 3・4会議室

以 上